



一般社団法人
山口県作業療法士会

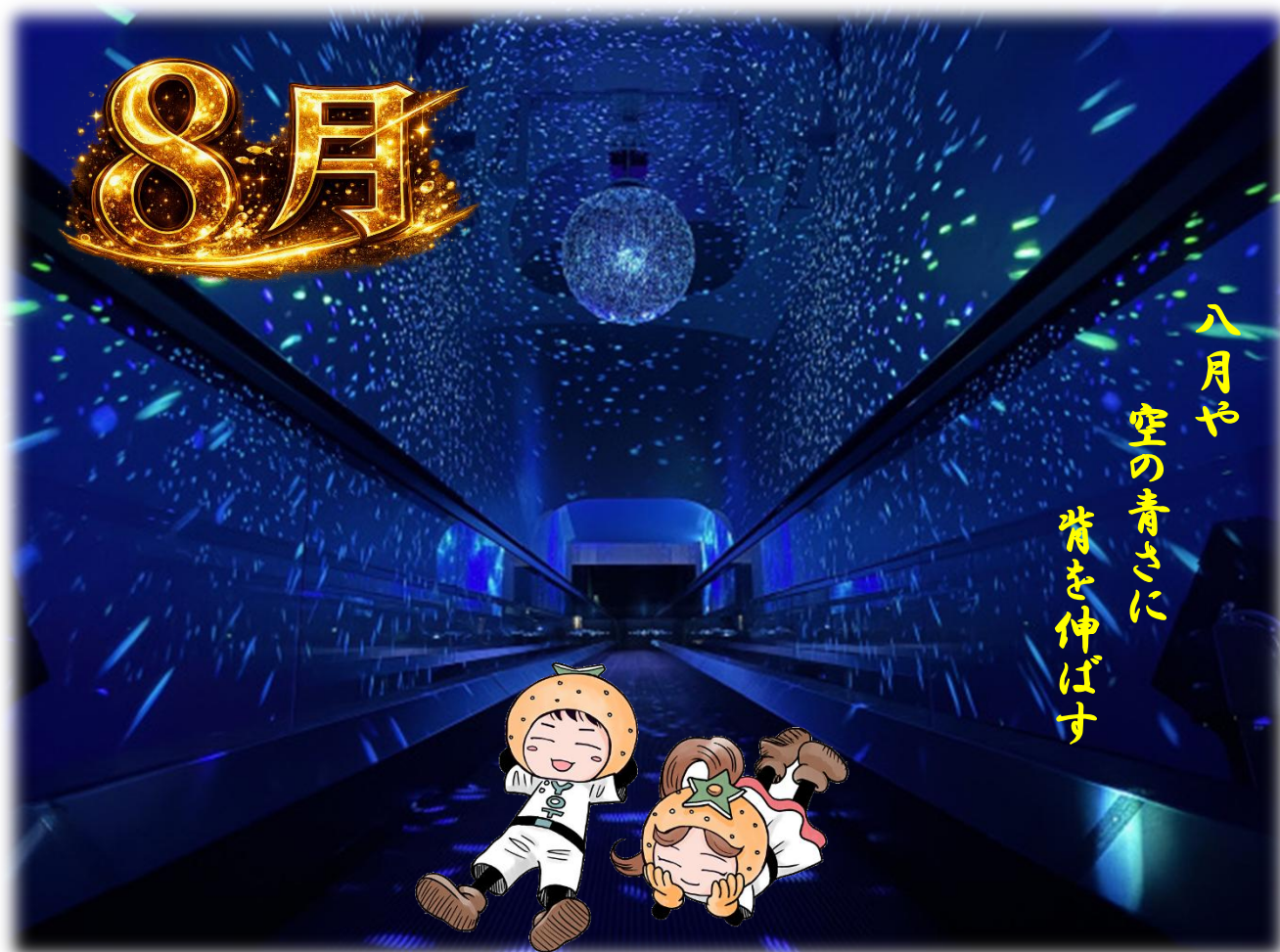
一般社団法人 山口県作業療法士会

それっちゃ

Yamaguchi



No.367



それっちゃデジタル版

巻頭言	2
研修会案内	3
部会・部局より	9
事務局より	11
憧れの先輩紹介	12
理事会報告	13
しっちょる	16
編集後記	17

巻頭言

学会準備を通して思う
作業療法の価値

所属 第 37 回山口県作業療法学会 学会長
氏名 石丸拓也

山口県作業療法士会の皆様、日々の臨床現場で対象者と真摯に向き合う作業療法士としての業務、そして県士会活動への多大なるご尽力に対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、現在私は、9月27日開催の「第37回山口県作業療法学会」学会長として、実行委員とともに鋭意準備を進めております。皆様にとって実り多き学会となるよう、一丸となって取り組む毎日です。

今学会のテーマは「多様性を支える スマート OT ～人・技術・環境をつないで拓く主体的リハと地域共生～」といたしました。「スマート」や「技術」という言葉から、デジタルや先進技術ありきの内容を想像されるかもしれませんが、しかし、テーマの根底に流れるのはそれだけではありません。私たちが大切にしてきたアナログな関わりと最新技術の「新旧の融合」、効率化を追求しつつも忘れてはならない人としての「泥臭さ」、先人たちの知恵から学ぶ「温故知新」の精神です。多様な価値観を包摂し、対象者の主体的な生活へと繋ぐ、作業療法の懐の深さと素晴らしさを表現したテーマなのです。

学会準備を進める中で、私自身、作業療法の本質的な価値を改めて見つめ直しています。私たちの仕事は、対象者の心身に直接働きかけるだけでなく、対象者とご家族、地域社会、さらには環境や新しい技術など、「対象者とあらゆるものを繋ぐ」ことができる稀有な職業です。人がその人らしく生きるための結び目となる役割こそが、作業療法の最大の強みだと感じています。

私は、この作業療法の真の価値に、他でもない私たち作業療法士自身に気付いてほしいと強く願っています。私たちが選んだこの道は、人の人生を豊かにし、社会に多様な繋がりを生み出せる、素晴らしい職業です。日々の臨床で困難に直面することがあっても、私たちが誇るべきその価値を、改めて胸に刻んでいただければ幸いです。

9月の学会が、誇りを再認識し明日からの実践への活力を得る場となるよう、多彩なプログラムをご用意しております。ぜひ多くの皆様にご参加いただき、活発な議論と交流を深められることを楽しみにしております。末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。学会会場でお会いできることを心待ちにしております。

第 37 回山口県作業療法学会 学会長 石丸 拓也

研修会案内

県士会主催の研修会案内

「令和 8 年度学術部主催 第 1 回定期研修会」のご案内

今回は、話題の「メタ認知」を学ぶ！

私たちの思考のクセや偏りに気づき、柔軟な視点を育む MCT（メタ認知トレーニング）をテーマに、MCT-J の理事長・石垣先生をお招きし、その実践をわかりやすくご紹介します。初心者大歓迎！対人支援だけでなく、ご自身の日常や人間関係を見つめ直すヒントが満載です。専門領域を超えてぜひ奮ってご参加ください。

1. 日 時：令和 8 年 11 月 8 日（日） 10：00～15：30 （受付 9 時 30 分～）
2. 会場（対面形式）：吉南病院
〒747-1221 山口市鑄銭司 3381
3. テー マ：メタ認知トレーニング（MCT）
～現場で活かす 知って得する新たな視点と可能性～
午前の部 10：00～12：00 ・メタ認知トレーニング MCT の概要と実践
午後の部 13：00～14：30 ・メタ認知の活用の広がり
・国内外の動向、今後の可能性と課題
オプション 14：40～15：30 ・高齢者支援についての講師と意見交換会（有志）
4. 講 師：石垣 琢磨先生（東京大学 大学院総合文化研究科 教授／医師・臨床心理士）
5. 対 象 者：県士会員 OT 学生 多職種
6. 参 加 費：県士会員（OT）：1,000 円、他職種：2,000 円
非県士会員（OT）：5,000 円 学生（県内）：無料 学生（県外）：500 円

※申し込み、支払い方法については、後日お知らせいたします。

問い合わせ先：医療法人和同会 吉南病院

TEL083-986-2111

Mail：kitsunan.reha@gmail.com

担当：池田晶代・重村晶子・和田真弓

「事例検討・報告会」のご案内

この度、学術委員会で事例検討・報告会を行います。今年度は年 1 回の開催です。
来年度から登録制度となる事で事例検討・報告会としては最後となります。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：令和 8 年 12 月 13 日（日） 10 時～16 時（受付 9 時 30 分～）
2. 会 場（形式）：山口コ・メディカル学院
3. 対 象 者：県士会員
4. テー マ：「9.事例検討・10.事例報告」
5. 参 加 費：1000 円 非会員 2,500 円（終日一律）
6. 支払方法：申し込み後、担当より支払いのご案内メールを送信いたします。
ピーテックス(Peatix)を通じての支払いとなります。

7. 参加条件:

【9.事例検討のみ履修を希望の方】

- ・「8.事例検討方法論」まで履修済みであること
- ・研修内で必ずディスカッション(質疑や発言)をすること

【10.事例報告のみ履修希望の方】

- ・「8.事例検討方法論」「9.事例検討」まで履修済みであること
- ・発表方法:パワーポイント 提出用レジュメ A4 2 枚を A3 1 枚にする
- ・発表時間:1 名 10 分+質疑応答 20 分

【9.事例検討 10.事例報告を同日に履修を希望される方】

- ・「8.事例検討方法論」まで履修し「9.事例検討」「10.事例報告」を希望の方
- ・午前に「9.事例検討」を履修し午後に「10.事例報告」を履修となります

8. 支払期間:令和 8 年 8 月 1 日(土)～令和 8 年 12 月 3 日(木)

9. 申込方法:(<https://forms.gle/JjCKyCyrCm5JxsKg9>)より必要事項を記入して下さい。

右記の QR コードからも申込可能

10. 申込期間:令和 8 年 8 月 1 日(土)～令和 8 年 11 月 13 日(金)

11. 問合せ先:山口県立総合医療センター 角 健輔

E-mail:rihabiri@ymghp.jp

12. 勉強会・研修会について、遅刻・途中退席等が合計 15 分以上確認された場合は、生涯教育ポイント付与、ならびに受講証明は原則認められませんので、ご注意ください。



地域リエイブルメント推進委員会から 研修会のご案内

『OT が拓く地域リエイブルメント講座 超入門編』

～住み慣れたまちで「したい」をカタチにする第一歩～

高齢化が進むなか、地域で自分らしい暮らしを支えるためには、総合事業やリエイブルメントの考え方がますます重要になっています。本研修では、総合事業の概要や地域における OT の役割、リエイブルメントの基本的な考え方をわかりやすく解説します。利用者の「したい」「できるようになりたい」を支えるために、OT ならではの視点を活かした地域支援のヒントを一緒に学びましょう。病院・施設・地域など勤務領域を問わず、明日からの実践につながる第一歩として、ぜひご参加ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

1. 日 時:令和 8 年 9 月 4 日(金) 19:00～20:30 受付(18:30～)

2. 形 式:WEB(Zoom)

3. 対 象 者:山口県士会員 (過去に当研修の受講経験のない OT)

※上記以外の方も受講頂けますが、資料は昨年のを基に作成していますのでご了承ください。

4. テー マ:『OT が拓く地域リエイブルメント講座 超入門編』

～住み慣れたまちで「したい」をカタチにする第一歩～

5. 内 容: 1) 山口県の高齢者事情と総合事業 2) リエイブルメントについて
3) グループワーク

6. 山口県立総合医療センター 原 直利先生 山口市基幹型地域包括支援センター 田谷 由桂里先生

7. 参加費:1,000 円

支払方法:申し込み後、担当より支払いのご案内メールを送信いたします。

ピーテックス (Peatix) を通じての支払いとなります。

8. 支払期間:令和 8 年 8 月 1 日(土)～令和 8 年 8 月 28 日(金)

9. 申込方法:<https://forms.gle/Ua431GZFXB9XAeAw6> より必要事項を記入して下さい。

下記添付の QR コードからも申込可能

10. 申込締め切り:令和 8 年 8 月 28 日(金)

11. 問合せ先:TEL:0837-22-2220 (長門総合病院 井上清隆)

Mail:yamaot.chiiki@gmail.com



※連絡事項：

- 1) 申込時のメールアドレスは、当日 Zoom で使用する個人の PC 用メールアドレスでお願いします。
- 2) 申込後、確認用のメールが送信されます。届かない場合は、申込時のメールアドレスが違っている可能性がありますので、再入力をお願いします。
※google.com からのメールがブロックされないよう設定をお願いします。何度入力しても確認メールが届かない場合は、担当者へお問い合わせ下さい。
- 3) 複数回入力された場合は、最後の入力を有効とさせていただきます。
- 4) 申込時の会員情報（会員番号・氏名等）は、日本作業療法士協会に登録したものと同一ものを入力してください。以下の URL より確認をお願いします。
- 5) <https://www.jaot.net/mm/#/login> 適切に入力されないとう生涯教育システムへ登録出来ません。
- 6) 研修会中の画面を録画させていただく場合がありますので、ご了承下さい。個人情報の保護については、会の方針に則り適切に運用させていただきます。
- 7) 研修会受講時には当該年度有効の県士会会員証と協会会員証を提示してください。会費納入が遅れ、会員証を受けとってない方は振込受領書を提示して下さい。提示が出来ない場合は生涯教育ポイントの発行は出来ません。
- 8) 勉強会・研修会について、遅刻・途中退席等が合計 15 分以上確認された場合は、生涯教育ポイント付与、ならびに受講証明は原則認められませんので、ご注意ください。

Peatix 使用時の注意事項

【注意事項】

ピーテックスの参加費お支払いには、クレジットカード以外は手数料がかかります。

手数料は参加者の負担となりますのでご了承ください。

原則として参加費の返金はいたしません。

施設よりまとめて支払う場合は、事務局にご連絡ください。

参加費は以下の方法で支払いが出来ます。

●クレジットカード/デビットカード/プリペイドカード

VISA、MasterCard、JCB、AMEX、Discover、Diners Club、PayPal

※クレジットカードのお支払いには外部の決済会社を利用しています。カードの種類によっては、決済時に PayPal アカウントの作成が必須です。ご利用上限は PayPal 社の審査により異なります。

●コンビニ

ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート

●ATM

Pay-easy、ゆうちょ銀行、Paypay 銀行(旧ジャパンネット銀行)、楽天銀行、au じぶん銀行

☆コンビニ/ATM 支払いでの購入は、注文 1 件あたり 330 円の手数料が発生します。

なお、お支払いを行う金融機関の ATM によっては振込手数料や時間外手数料がかかる場合があります。

第37回 山口県作業療法学会

「多様性を支えるスマート OT」

— 人・技術・環境をつないで拓く主体的リハと地域共生 —

学会長 | 石丸拓也 YIC リハビリテーション大学校

令和8年 **9/27(日)** 10:00-16:30

会 | 専門学校 YIC リハビリテーション大学校
場 | 山口県宇部市西宇部南 4 丁目 11 番 1 号

企画テーマ

「つながる・ひろがるスマート OT」

— 日々の『モヤモヤ』を試行錯誤で価値に変える、共有 × 探求 × 統合の 3 ステップ —

<プログラム>

ワークショップ・シンポジウム・総括講演

総括公演

ヒト・コト・モノの相互作用を捉える
作業療法士だから提供できる価値

小林大作氏 株式会社アシテック・オコ 代表



詳細はこちら

企画テーマ



学会
Web サイト



主催団体：一般社団法人 山口県作業療法士会
事務局：山口労災病院 〒756-0095 山陽小野田市大字小野田 1315-4
Tel:0836-83-2881 mail:ubeonoda.gakkai@gmail.com

掲載写真：一般社団法人山口県観光連盟（本山峠公園 / 秋芳洞） / ときわ公園 彫刻「蟻の城」《作者：向井良吉》

参加費	中国 5 県士会員	2,000 円
	非県士会員	10,000 円
	他職種及び中国 5 県以外の OT 県士会員	3,000 円
	学生	500 円



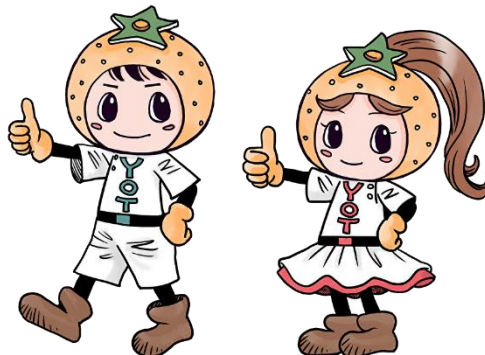
他団体主催の研修会案内

第19回 維新リハビリテーション研究会
開催のお知らせ

平素より当研究会にご支援頂きまして誠にありがとうございます。

第19回 維新リハビリテーション研究会を下記の通り実施致します。要項をご一読のうえ、下記QRコードより参加案内希望のご登録をお願い致します。ご登録頂きましたアドレスに当日の案内をお送りいたします。前回の募集にてご連絡を頂いた先生は、ご登録は不要です。

1. 日 時：R8年8月18日（火） 18:30 から 20:00
2. 開催形式：Web（ZOOM）
3. 参加費：無料
4. 生涯教育：日本作業療法士会 基礎ポイント1ポイント
5. 内 容：脳神経外科 各論：CI療法における目標設定① 18:30～19:00
脳神経外科 各論：CI療法における目標設定② 19:00～19:30
脳神経外科「麻痺手に対する課題指向型アプローチ～作業活動を用いたアプローチ」 19:30～20:00
6. 講 師：
御書 正宏：周南リハビリテーション病院
認定作業療法士 専門作業療法士(脳血管障害)
森脇 善幸：メンタル訪問看護ステーション conamu 周南
認定作業療法士 専門作業療法士(脳血管障害)
7. 注 意 点：
 1. 参加証明書配布のためインターネット環境下のPCで参加をお願いします。
 2. 1名につき1つのアドレスでご登録下さい。
 3. 病院、施設などのアドレスは避け、個人のメールアドレスをご登録ください。
 4. 複数人での視聴は可能ですが、ポイントはご登録のアドレスの方のみとなります。
 5. 講義中に提示したスライドなどの資料配布はありません。
8. 問い合わせ先：
維新リハビリテーション研究会 森脇 善幸（もりわき よしゆき）
メールアドレス：ishin.rehabili@gmail.com



令和 8 年度 山口県依存症対策支援事業医療従事者向け研修会 「第 7 回 山口県依存症セミナー」

1. 日 時：ライブ配信 令和 8 年 8 月 23 日（日） 13 時 ～ 16 時 40 分
2. 開催形式：WEB 形式（ZOOM）でライブ配信 オンデマンド配信あり
3. 主 催：山口県、山口県依存症治療拠点機関（高嶺病院・山口県立こころの医療センター）
4. 対 象：県内の精神科医療機関（依存症治療を専門としない医療機関を含む）や精神科医療機関以外の医療機関（内科診療所や救急医療機関等を含む）に勤務する医療従事者等。
5. 内 容：セミナーテーマ「多様化する依存症支援と“回復”のかたち」
講演 1 演題「やめさせようとするほど、依存症支援はうまくいかない～対象理解・治療同盟・希望の共有～」
講師：佐久間 寛之 氏（さいがた医療センター 院長）
講演 2 演題「“回復”のあとを、どう生きるのか」ー多様化する依存症支援と「揺れる身体」
講師：倉田 めば 氏（薬物依存症回復支援団体「フリーダム」代表、精神保健福祉士）
シンポジウム 「多様化する依存症支援と“回復”のかたち」
コーディネーター：藤田 実 氏（山口県立こころの医療センター 副院長）
助言者：佐久間 寛之 氏（さいがた医療センター 院長）
シンポジスト：倉田 めば 氏
渡慶次 稔 氏（山口 DARC 施設長）
山口県のアルコール・ギャンブル依存症当事者
7. 定 員：先着 200 人
8. 参 加 費：無料
9. 問い合わせ先：山口県依存症治療拠点機関（高嶺病院担当：岡村・吉田）（山口県立こころの医療センター担当：荒木・藤村・工藤） E-mail: kokoro.izon@gmail.com（メールにてお問い合わせください）
10. 参加申込：令和 8 年 8 月 16 日（日）までに下記の QR コード、または、高嶺病院又は山口県立こころの医療センターのホームページよりアクセスしていただき、Google フォームにてお申し込みください。必ずお一人様につき 1 アカウント（メールアドレス）でお申し込みください。事前登録されたメールアドレス宛に、8 月 20 日頃に当日参加 URL、資料等が届きます。
申込 URL：<https://select-type.com/ev/?ev=I6MnDvfkfHk>



部局・委員会より



はじめまして！

令和8年度から特設されました、次世代コネクト委員会です。

この委員会は、前身の企画委員会・県士会員の増のための検討委員会の2つの委員会の意思をついで設立されました。

メンバーは各地区1～2名程度、4～17年目の県士会員で構成されており、若手の意見を取り入れることを重視した構成になっています。



第1回の会議では対面で開催し、木下会長や高山副会長も参加していただきました。
来月の『それっちゃ』では、次世代OT向けにアンケート調査を行う予定です。
これからの県士会を、次世代みんなで盛り上げていくために皆様の声が必要です！
みなさまのご意見お待ちしております！

令和8年度 臨床実習指導者講習会のご案内

1. 日 程：令和8年12月19日（土）～12月20日（日）
2. 予定時間：【土曜日】9：20～18：55（受付8：30～）
3. 【日曜日】8：45～16：20（受付8：30～）
4. 開催方法：対面形式
5. 会 場：専門学校 YIC リハビリテーション大学校
6. 対象者：免許取得後4年（5年目）以上業務に従事した作業療法士
※申し込みまでに(一社)日本作業療法士協会への入会手続き・会費納入をお願いします。
7. 定 員：50名（定員超過の場合は抽選）
8. 参 加 費：山口県作業療法士会員 3,000 円、中国5県士会員 3,000 円、それ以外 15,000 円
9. 10月中旬に受講可否決定後、担当より支払いに関する案内メールを送信いたします。Peatix を通じての支払いとなります。

【注意事項】

Peatix（ピーテックス）の参加費お支払いには、クレジットカード以外は手数料がかかります。
手数料は参加者の負担となりますのでご了承ください。

施設よりまとめて支払う場合は、県士会事務局（083-920-0171）にご連絡ください。

※キャンセルの場合でも返金できませんのでご了承の上、お申込みください

10. 参加費支払期間：令和8年10月15日（木）～令和8年11月15日（日）

11. 申込方法 : <https://forms.gle/GnmpFolZyU6n7hB98>

または、右の QR コードからお申込みください

12. 申し込み期間 : 令和 8 年 8 月 1 日 (土) ~ 令和 8 年 10 月 10 日 (土)

13. 留意事項 :

- ・ 2 日間の計 16 時間のカリキュラムすべてを受講することが修了要件となります。
- ・ 遅刻、早退や代理参加の場合は、修了証を発行できません。
- ・ キャンセルの場合も参加費の返金はありません。ご了承ください。

14. 問い合わせ先 : 宇部中央病院 リハビリテーション室 作業療法士 天野真理子
(E-mail) yot.kyouiku.am@gmail.com (TEL) 0836-51-9461

当日連絡用 TEL : 050-3199-1570

※連絡事項 :

- ・ 申込のメールアドレスは、連絡が付きやすい個人 PC 用メールアドレスをお願いします。
- ・ yot.kyouiku.am@gmail.com より案内メールを送付いたします。ブロックされたり、迷惑メールに振り分けられたりしないように、適宜確認と登録をお願いいたします。
- ・ 複数回入力された場合は、最後の入力を有効とさせていただきます。



生涯教育制度調整委員会

2024 年以前に入会された方へ

【原則】

- ① (現行) 現職者共通研修修了
- ② (現行) 現職者選択研修修了
- ③ 基礎ポイントを 50 ポイント以上取得
- ④ 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会受講修了、または理学療法士作業療法士言語聴覚士養成施設教員等講習会受講修了、または、日本作業療法士協会が主催した中級・上級研修を受講し作業療法士臨床実習指導者研修を修了

要件を満たし申請

登録
作業療法士

2024 年度までの入会者は 2026 年度中に現行の生涯教育制度の基礎研修を修了しておくことをお勧めします。また、旧生涯教育制度内で基礎研修修了・更新要件を満たしている場合は速やかに申請の完了をお願いいたします。修了申請は日本作業療法士協会会員ポータルサイトから、ご自身で行う必要があります。

基礎研修の修了要件

1. 現職者共通研修 10 テーマの修了
2. 2026 年度中(2027 年 3 月末まで)に受講ください(必修)
3. 現職者選択研修 2 領域の修了
4. 基礎ポイント研修 50 ポイント

OT協会
会員ポータルサイトで
基礎研修 修了申請を
行ってください

今年度の研修スケジュール

(山口県士会主催のみ。他県士会主催の研修会は各県士会 HP で検索してください。)

1. 現職者共通研修
令和 8 年 9 月 19 日(土)、10 月 17 日(土)
2. 現職者選択研修(老年期)
令和 8 年 8 月 23 日(日)

申込は
7月号、8月号のそれっちゃやまぐち
または県士会 HP から

事務局より

着文書

(R8.6.18～R8.7.7)

＜他県士会ニュース＞

鳥取県作業療法士会 ニュースNo131

北海道作業療法士会 ニュースNo186

施設情報

＜新規施設＞

(下関地区)

児童発達支援センターこむぎ

〒751-0868 山口県下関市大字有富 204-1

TEL:083-250-9742

(宇部小野田地区)

西岐波セントヒル病院

〒755-0155 宇部市今村北 3-7-18

TEL:0836-51-5111 FAX:0836-51-9999

財務

正会員の方へ本年度お送りした振込用紙は、使用期限が 6 月末までです。

現在は使用できませんので、会費の納入がまだの方は、郵便局の振込用紙を利用して至急振込をお願いします。

郵便局からお振込の方は指定の振込用紙に金額 8,000 円と記入し振り込んでください。

- ・会員証が届くまでは払込受領証を必ず保管しておいてください。
- ・郵便局に振込用紙がありますので、会員氏名・O T 協会会員番号を記入し、年会費(¥8,000)を下記まで振り込んでください。
- ・間違えて、8,100 円の納付をされた場合は、超過分返金いたしませんので、ご了承ください。

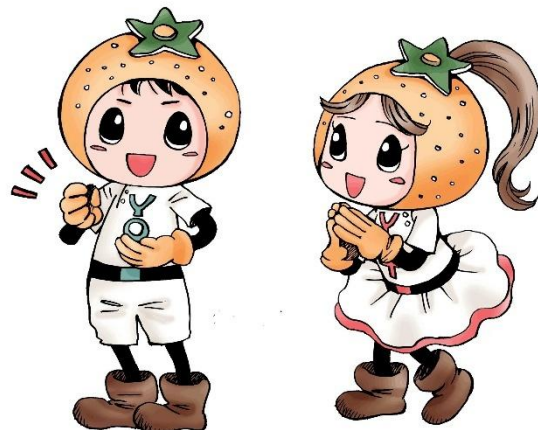
【会費振込先】

郵便振替口座 記号番号：01590-5-11556
加入者名：山口県作業療法士会
ゆうちょ銀行 一五九支店 当座預金 0011556
加入者名：山口県作業療法士会

お問い合わせ先：山口県作業療法士会事務局

TEL：083-920-0171

＊職場の異動などがある場合、振込用紙に変更事項の記入だけでは会員データが更新されません。異動届の提出をお願いします（県士会のホームページからも変更出来ます）。



新企画!!

私のロールモデル! 憧れの先輩OT紹介!

2026.8 | Vol.1

作業療法室

石原 あやめ 先生

所 属：宇部中央病院
経験年数：12 年目
専 門：脳外科、整形

推薦者：山崎 萌名（2 年目）

相手の魅力や人柄を引き出すコミュニケーションに長け、石原さんの周りには毎日笑顔で溢れています。患者さんはもちろん、リハビリスタッフ以外の職種からも愛されるアイドル的存在です！患者さんとの関わりの中で得た情報をもとに、急性期でも他院後の生活を見据え、「その方らしい」作業療法を実践される姿からは多くのことを学ばせてもらっています。さらに地域支援事業にも積極的に参加され、地域のためにも日々尽力されている、私の自慢のエルダーです！

石原さんからのメッセージ

2 年目に突入し、自分のことだけでなくチームのためにも動けるようになり、山崎さんにはたくさんサポートしてもらっています。いつもありがとう！
私が患者さんと関わる上で大事にしていることは『接遇』と『関係性の構築』です。リハビリ以外の時間に、少し顔を見せる、声をかけるなどは意識的に行っています。山崎さんの『その人のために一生懸命考える姿勢』や『悔しさをプラスに変える力』は武器だと思います！これからも一緒に悩んで、考えて、成長していきましょう！

一般社団法人山口県作業療法士会

令和 8 年度第 2 回理事会議事録

議長:木下 書記:鈴木

日 時	R8/07/04(土) 14:00～15:00	(場所):山口コ・メディカル学院 2 階 4 号教室
出席者	理事:木下・中村・高山・原・赤木・池田・井上・古谷・三宅・田谷・鈴木 【Zoom】奴田原 監事:小林 委員:田村・天野・角上・濱本・石原・西森・鍵本 【Zoom】石丸	出席理事:12 名
事務局	久保田・田中・西野	
事務員	児玉・岡崎	

文書・委員推薦依頼等報告

(R8/5/7～R8/6/18 まで)

【県・市町より】**山口県**

健康福祉部:山口県地域生活移行推進会議委員
の推薦依頼→池田 OT
若年性認知症カフェ実行委員選出について→上
谷 OT
山口県宇部健康福祉センター:難病対策地域協
議会委員の推薦について→濱本 OT

各市町

・宇部市:地域包括支援センター運営協議会委員及
び地域密着型サービス運営委員会委員の推薦依
頼→河野 OT
短期集中予防サービス事業(hope)に関する PT 及
び OT の意見交換会開催について→7 名参加
・周南市:リハビリ専門職派遣について→西森 OT
・下松市:地域ケア個別会議→6 月・中村 OT
自立支援者会議 推薦→6 月・万田 OT
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
事業における 自主活動グループへの活動支援→
西森 OT

【その他】

山口県社会福祉協議会:ふれあいいきいきミーティ
ング研修会について→徳若 OT

各部から報告・審議事項等**【事務局】**

- ・ 会員動向確認 6/22 現在会員数 940 名
新入会者 27 名 →承認
退会 3 名

□災害対策室

- ・ 6/1 中四国災害担当者会議出席
- ・ 6/1 JRAT マニュアル審査会出席
- ・ 6/18 JRAT マニュアル審査会, POS 合同災害リ
ハビリテーション研修打合せ出席
- ・ 令和 8 年度 POS 合同災害リハビリテーション研
修会 予定
日時:R8/7/5 OT参加申込 5 名(対面 2 名,
ZOOM3 名)
- ・ 例年 9 月に協会が実施している訓練へ今年も参
加予定。

【事業部】**□一般公開講座企画実行委員会**

- ・ 小児部会との共同開催について検討中。単独開
催であれば小児部会と時期が重ならないように
検討

【学術部】

- ・ 現職者選択研修
8/23 開催に向けて準備中 参加者 1 名 新制度
移行しており,参加者は少ない見込み
- ・ 精神部会研修会
11/8 メタ認知トレーニング(予定) 研修会
講師:石垣琢磨 氏(東京大学 大学院総合文化研
究科 教授・医師・臨床心理士)
会場:吉南病院

□査読委員会

- ・ 現在委員会メンバー選定中。

□学会サポート委員会

- ・ 委員:鈴木健朗(責任者), 御書正宏氏, 森脇善
行氏, 菅孝太郎氏, 原直利氏, 古谷正登氏, 池
田 晶代氏
- ・ 来年度のみ, 周南地区, 山口地区, 宇部・小野
田が担当。
- ・ 主な活動:学会担当地区からの相談対応。

□学会運営委員会 (R8:宇部地区担当)【日
程:R8/9/27(日) 場所:YIC リハビリテーション大
学校】

- ・ 第 2 回学会運営委員会全体会議
開催に向け,委員会内で各方面調整中

【教育部】

- ・ 6/3 全体会議を実施
- ・ 現職者共通研修 日程:1 回目:9/19(土) 2 回
目:10/17(土)

□臨床実習指導者養成講習会

- ・ 日程:2026/12/19(土). 12/20(日) 場所:YIC リハ
ビリテーション大学 形式:対面

□MTDLP 研修会

- ・ (今年度の予定)
10 月位 基礎研修 12 月位 書き方研修会 2
月位 事例検討会

【広報部】

- ・ 広報部に関わるマニュアル作成中
- ・ 県士会作成のパンフレットのリニューアルを検討中

□啓発活動委員会

- ・ レノファ山口のホームゲームでの啓発活動の計画

<各地区活動予定>

- ・ 下関地区:7/26(日)手をつなぐみんなの福祉フェスタ
- ・ 宇部小野田地区:11/15(日)第17回SOS健康フェスタ
- ・ 山口防府地区:11/3(火)おごおり健康まつり
- ・ 周南地区:11/8(日)下松市福祉健康まつり
ぶち元気がいいねフェスタ(周南市) 10月, 例年スポーツの日で開催
しゅうなんリハビリ保健室 日程調整中
- ・ 岩国地区:11/29(日)地域包括ケア推進大会
- ・ 萩長門地区:9/13(日)RUN 伴はぎ

□高校生1日体験実行委員会

- ・ 高等学校への郵送物の封入作業
日時:6/3 18:00～ 於 医師会病院 参加者:4名→発送6/4
体験実施承諾施設 23 施設
申し込み高等学校 13 校, 申込人数 29 名 希望施設数は 13 施設

□県士会ニュース編集委員会

- ・ 新企画の進捗状況
8月号に新企画「私のロールモデル! 憧れの先輩紹介」を掲載開始.
「新人 OT 奮闘記」に関しては企画検討中. 理事の所属施設でモデルケースを提示するなど協力依頼.

【福利部】

- ・ 今年度はピンバッジを予定通り作成. ロゴ使用の許可申請→承諾

【渉外部】

- ・ 7/22 公明党政策懇談会 木下会長, 原副会長, 岩本連盟会長が参加予定

【地域共生社会推進部】

- ・ 委員長会議:6/24 開催 参加者:13名
昨年度の取り組みと今年度の予定の共有を行った.

□地域リエイブルメント推進委員会

- ・ 会議:7月初旬に第1回会議を調整中. 市町担当者会議は7月末から8月初旬で今後調整予定.
研修会について:例年通り3回シリーズでの研修を予定
第1回は8月末から9月初旬 第2回は12/5(日)(確定) 第3回は年度末(地区別予定)

□認知症支援委員会

- ・ 6/24 活動計画 現時点での活動は, 山口県カフェサミットへの協力
- ・ 新委員に岡藤 農氏(まつなが医院), 仲村 康樹 OT(下関リハビリテーション病院)

□運転と地域移動支援委員会

- ・ 報告
5/28 JAF 山口支部と一般向けチラシ作成に向け掲載写真撮影の協力を実施
6/14 岩国地区での勉強会実施 参加者:19名(OT:12,PT:2,CM:4,MSW:1)
6/27 湯田自動車学校と勉強会打ち合わせ予定
7月上旬 運転免許課, 指定自動車学校協会への挨拶予定
→運転支援関連団体共同事業会議の日程調整を予定
11/1(日)を候補日として勉強会開催予定. 参加費を徴収し 30 名程度を上限に参加者を募集する予定.

□こども支援委員会

- ・ 宇部市訪問
3歳児, 5歳児の健診後の相談会「みんなのいろ」の5月(対象児2名), 6月(対象児3名)訪問終了
- ・ 阿武町訪問
みどり保育園への訪問 5月(年長児8名), 6月(年中児11名)終了
9月に阿武町にて講師依頼あり:上田対応
- ・ 萩総合支援学校長門分教室より昨年度に続き訪問依頼あり:中村 OT(長門総合病院)対応

【制度対策部】**□介護保険対策委員会**

- ・ R8年度 山口県介護保険関係団体連絡協議会総会及び第1回連絡会議
日時:R8/5/27(水)開催
R8年度介護保険関係団体フォーラム:開催時期令和8年9～12月で調整
講演Ⅰ(団体向け)制度・報酬改定系
講演Ⅱ(一般向け)地域振興系の2本立て企画予定

【常設委員会】**□訪問リハビリテーション研修会運営委員会**

- ・ 第17回山口県訪問リハビリテーション実務者研修会
第1回 OT 会議 :R8/6/10(水)
第1回全体会議:R8/6/25(木)
R8年訪研修会:10～11月頃 山ロコ・メディカル学院を会場にて対面開催予定.
- ・ 第17回 訪問リハ・地域リーダー会議
5/16(土)Zoomにて開催.
今年度の要件確認及び各都道府県との情報交換実施

【特設委員会】**□地域保健総合推進事業委員会**

- ・ 岩国市より企業向けの腰痛予防や作業環境について相談対応

□司法領域推進委員会

・6/9 第一回委員会(zoom) 実施

内容:岩国刑務所・山口刑務所での介入の進捗
状況の共有, その他

□次世代コネクト委員会

・第1回の会議を対面にて開催

日時:R8/6/28(日)場所:健康づくりセンター

りじうら

～理事会裏話～

梅雨がいよいよ終わりそうな今日この頃。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。今回は第2回理事会のりじうらをお届けします。今回の理事会は山口コ・メディカル学院で開催されました。休日にも関わらず人が多いと思いましたが、山口コ・メディカル学院ではオープンキャンパスが開催されており、キラキラした高校生と思われる方たちがいらっしゃいました。OTに興味を持っていただけるいいなと思いながら理事会会場への階段を上がる私(▽▽)

それでは、理事会の内容を一部ご紹介したいと思います。

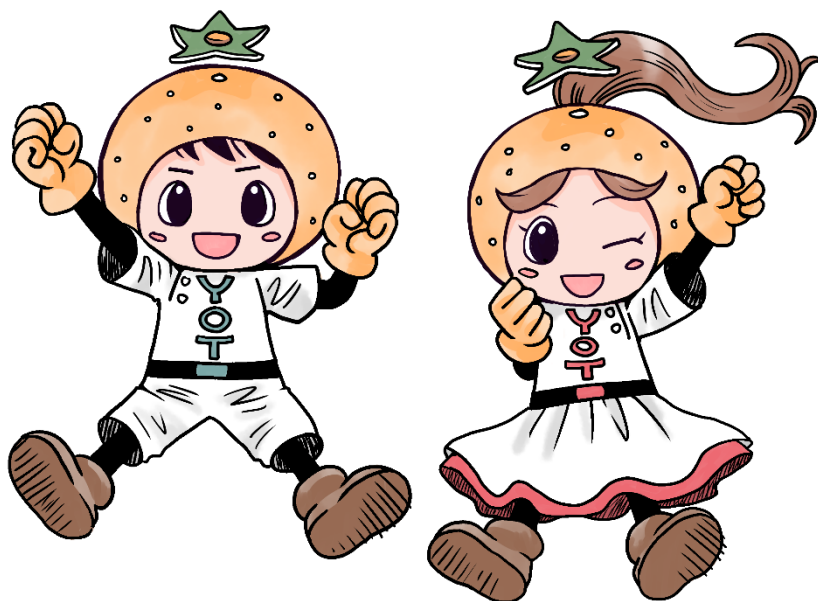
この度、精神部会研修会でご高名な先生をお招きして研修会が開催されます。幅広い領域のOTに興味を持ち、参加していただきたいという思いを込めて今回のみ名称を(学術部主催)定期研修会に変更し開催されます。研修会案内をご覧ください、ご興味のある方はふるってご参加くださいませ♪

山口県作業療法学会の準備が着々と進められております。7月中旬あたりに参加案内が来ていると思いますので、お申し込みの上、YICリハビリテーション大学校へぜひお越しください!

運転と地域移動支援委員会からは、湯田自動車学校のご協力のもと、改造車を用いた研修会の開催予定について報告がありました。またとない機会ですので、運転に関わられるOTの方々のお越しをお待ちしております!

今回は研修会や学会にお越しください☆、という内容で埋まってしまいました(;^_^A さまざまな研修会や学会がOTのみなさんの糧となるよう、運営の方はいろいろと知恵を絞ってくれていますね。では、研修会や学会でお会いできる日を楽しみにしております!

以上で今回のりじうらは終了です。これから夏が本格的にやってくるので熱中症にお気を付けください。それではまた、次回のりじうらで☆



話のネタの
豆知識！

しっちょる？



知っているようで知らない

「緑色」なのに「青信号」と呼ぶ理由

●【歴史的背景】

日本に初めて近代的な電気式信号機が導入されたのは、1930 年（昭和 5）年のことです。導入当初の法令（道路取締取扱規則）では、世界基準に則って「緑色信号」と正しく規定されていました。

しかし、新聞各紙がこの新しい機械を紹介する際、こぞって「青信号」と表現して報道しました。

これには日本語の歴史的な背景が深く関わっています。日本語の「青」という言葉は、古くから非常に広い範囲の色を指しており、「緑色」も青の一部として扱われてきました。現代でも、以下のように緑色のものを「青」と呼ぶ習慣が残っています。

- 青葉・青竹・青菜（実際はどれも緑色）
- 青リンゴ・青汁（実際は緑色）

このように「緑色のものを青と呼ぶ」感覚が日本人に染みついていたため、緑色に光る信号機もごく自然に「青信号」と呼ばれるようになり、一気に世間へ定着しました。あまりにこの呼び名が一般的になったため、1947 年（昭和 22 年）の法改正時、ついに国も折れる形で法律上の表記を「青信号」へと改めたのです。

●【世界基準の「緑」と日本の「青」のせめぎ合い】

国際的なルール（国際照明委員会：CIE）では、進んでもよい信号の色は「緑（Green）」と定められています。そのため、日本独自の文化だからといって、完全に真っ青（ブルー）な信号機にしようと、国際条約に違反してしまいます。

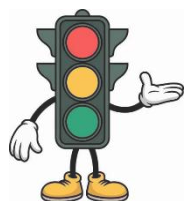
そこで日本の信号機メーカーや警察庁は、知恵を絞りました。

国際基準が許容する「緑」の枠組みの中で、「最も青（ブルー）に近い、限界ギリギリの緑」を追求して色を調整したのです。

●【青信号のもうひとつの意味】

この「青寄りの緑」には、実はもう一つ重要な意味があります。それは「色覚多様性（色盲・色弱など）への配慮」です。赤と緑は、色覚の特性によっては非常に見分けにくい色の組み合わせです。しかし、緑に青みを強く混ぜることで、色の見え方が異なる人でも「赤」と「青（緑）」の違いをはっきりと判別しやすくなるというユニークなメリットが生まれました。

現在の LED 信号機にもこの色設計が引き継がれており、日本の「青信号」は文化的背景とバリアフリー技術が融合した、世界でも珍しいハイブリッドな色合いになっています。



記事の掲載依頼について

☆ 原稿締め切り日は定例で毎月第 2 日曜日としております。（変更の場合あり）
 次回 9 月号（No. 368）は令和 8 年 8 月 9 日が締め切りで、発行日は令和 8 年 9 月 1 日頃です。
 記事掲載希望の方は下記 E-MAIL アドレスへ送ってください。

E-mail : yot_news@hotmail.co.jp

（書式は Word、フォントは明朝 10. 5P 英数字は半角でお願いします。）

* 編集の都合上、レイアウト等一部変更させていただくことがあります。

ご了承ください。

☆ ニュースに対するご意見、ご感想をお待ちしています。

＜県士会ニュース編集委員会＞ 編集委員長：YIC リハビリテーション大学校 石丸 拓也
 (TEL) 0836-45-1000 (FAX) 0836-45-1010



山口県作業療法士会
LINE 公式アカウント



山口県作業療法士会
公式 Instagram



それっちゃんデジタル版

【編集後記】

先月は朝早く起きている人もいれば、夜遅くまで起きてワールドカップを
 観て寝不足になっていた人が多かったのではないのでしょうか？私もその一人です。
 残念ながら日本は決勝トーナメント一回戦で敗れてしまいましたが、熱い試合が
 観れて満足しています。息子も頑張って起きてみてましたが、時々ギブアップ。
 次のワールドカップは 100 周年を記念して 3 大陸 6 か国で行われる予定です。
 その時息子は中学生なので、夜遅くても一緒に見れそうで楽しみです。

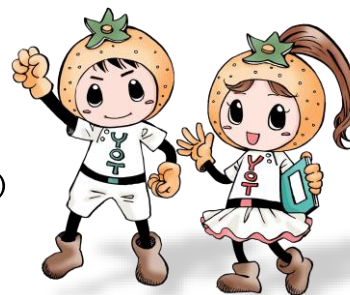
文責：山本



 一般社団法人 山口県作業療法士会
 それっちゃん Yamaguchi

月 1 回発行

- 発行：山口県作業療法士会 ニュース編集委員会
- 編集担当：石丸 拓也（専門学校 YIC リハビリテーション大学校）
 山本 隆次（医療法人 愛の会 光風園病院）
 吉長 卓真（医療法人社団 宇部中央病院）
 鍵本 州英（介護老人保健施設 寿光園）
- 印刷所：社会福祉法人山口県コロニー協会経営 ワークショップ・山口 コロニー印刷



《一般社団法人 山口県作業療法士会 事務局》

〒753 - 0851 山口県山口市黒川 2572 - 1 メゾン西京 103

事務 児玉・岡崎(TEL/FAX : 083-920-0171 E-mail : ymgc-ot@ymgcot.onmicrosoft.com)

Web : <http://www.y-ot.jp/>

